

# 平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	地域教育推進室参事 (地域教育担当)	直通電話	72-3172	事業コード	403030103	課内	4	作成日	平成15年8月15日	
	担当者		小林 睦		担当課長		百井 宏己		担当部長	樋口 幸廣

## 1 事業のアウトライン

1) 事業名	総合学習等に関する相談・調整事務	開始年度	H14	終了年度	未定						
		最近の事業内容見直し年度									
2) 総合開発計画での事業体系	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">施策コード</th> <th style="width: 85%;">大項目 / 小項目 / 細項目</th> </tr> <tr> <td>4030301</td> <td>幼児教育、学校教育の充実/時代変化に対応した個性を伸ばす教育の実践/学習内容・方法の充実</td> </tr> <tr> <td>4030303</td> <td>幼児教育、学校教育の充実/時代変化に対応した個性を伸ばす教育の実践/郷土学習、福祉教育、環境教育の取り組み</td> </tr> </table>					施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目	4030301	幼児教育、学校教育の充実/時代変化に対応した個性を伸ばす教育の実践/学習内容・方法の充実	4030303	幼児教育、学校教育の充実/時代変化に対応した個性を伸ばす教育の実践/郷土学習、福祉教育、環境教育の取り組み
施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目										
4030301	幼児教育、学校教育の充実/時代変化に対応した個性を伸ばす教育の実践/学習内容・方法の充実										
4030303	幼児教育、学校教育の充実/時代変化に対応した個性を伸ばす教育の実践/郷土学習、福祉教育、環境教育の取り組み										
3) 個別計画での位置付け	石狩市教育プラン(地域の教育資源や学習環境の活用を進めます 基本計画 2-(2))										

## 2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	「総合的な学習の時間」等が、各学校の創意工夫により、充実が図られるために。
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が地域の教育資源を効果的に活用できるように。</li> <li>・児童生徒の学習活動が充実するように。</li> </ul> 教育資源とは、学校や授業にとって教育的価値のある「ひと」、「もの」、「こと」(人材、自然、歴史など)。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	学校からの「総合的な学習の時間」等の相談窓口を地域教育推進室に一本化し、調べる学習などの対応先(市役所、社会福祉協議会、国際交流協会など)の調整や、学習に活用する地域の教育資源に関わる情報提供などを行なう。 「総合的な学習の時間」とは、新しい学習指導要領で新設され、各学校が創意工夫を生かし、これまでの教科の枠を越えた学習ができる時間で、横断的・総合的な課題について、自然体験や社会体験、観察・実験、見学・調査などの体験的な学習、問題解決的な学習をいう。
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	なし
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成14年度の新学習指導要領の実施により、総合的な学習の時間が新設された趣旨から、その内容の充実が求められる。</li> <li>・地域の教育資源を活用する際に、学校・学年・学級・グループ別などの多様な単位での依頼や、複数の対応先の調整が必要であることなどから、相談窓口の設置が求められている。</li> </ul>
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	なし
7) 評価中間公表への市民意見	なし

## 3 事業に投入した行政資源

項目	H12	H13	H14	H15 予算	H14 事業費の主な内訳	金額(千円)
1) 直接事業費(千円)	0	0	227	227	消耗品費	10
2) その他の間接経費(千円)					学校教育主事配置費	217
3) 従事正職員の人件費(千円)			2,882			
総事業費(1~3の合計;千円)			3,109			
総事業費中の一般財源(千円)			3,109			
市民一人当たり一般財源使用額(円)			56			
事務に従事した正職員のべ人数			0.35人			
					H14 主な特定財源の内訳	金額(千円)

## 4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法
相談件数(件)	目標値		未設定	未設定	目標は、学校の求めに応じ相談・調整を行なうため、未設定。件数については、一件で複数の相談・調整が必要になる場合がある。
	実績値		60		
	達成率				
相談対応率(%)	目標値		100	100	目標は、全ての相談に対応する。ただし、時間的、内容的に対応不可能な事項は除く。
	実績値		100		
	達成率		100.0%		
	目標値				
	実績値				
	達成率				

## 5 事業の成果

事業名：総合学習等に関する相談・調整事務

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
相談内容の授業への反映率(%)	目標値			未設定	未設定	平成14年度は、成果の把握を行っていない。平成15年度以降については、相談者へのアンケートを実施し、成果を把握する。	アンケート集計結果による
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
相談内容の活用による学習活動の充実度(%)	目標値			未設定	未設定	平成14年度は、成果の把握を行っていない。平成15年度以降については、相談者へのアンケートを実施し、成果を把握する。	アンケート集計結果による
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

## 6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	教職員の相談窓口に対する認知度は低い状況にあったが、寄せられた相談に対し、時間的、内容的に実現不可能な事項以外は100%対応したことから、概ね良好である。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	学校からの相談窓口設置への要望や、学習への多様な地域の教育資源の活用が求められていることから、より充実した相談・調整体制の確立が必要である。一方、事業成果の把握を行っていないことから、有効性については確認できない。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与の必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	現段階において、「総合的な学習の時間」等の相談・調整に応じる機関等がないことから、本事業を実施する一定の妥当性がある。なお、石狩管内でも相談窓口について、教職員の研究会で発表されるなど注目されている事業である。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	「総合的な学習の時間」を進める上で、各学校における創意工夫が求められており、内容や手法が多岐にわたるため、単に資料の提供にとどまらず、相談・調整を行なうことは、一定の妥当性がある。				

## 7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	B	[最終評価]	C (前年度)
	内容や手法が多岐にわたる「総合的な学習の時間」等を支援する手法として適切である。		総合的な学習の時間に対し、相談・調整は良好であるが、最終の成果などが不明である。	

## 8 今後の方向性・課題

担当課長評価	(平成16年度)多岐にわたる相談に対応する情報の収集(中長期)相談・調整体制の検討
最終評価	課長評価を了承する。

## 9 平成16年度の方向性

* ; 担当課長 ; 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
休・廃止			
上についての説明	(課長)積極的な情報収集		